

## ㊦ 「ソソソ」ではないよ

昭和 63 年 4 月 1 日に着任した生駒台小学校の校長室には、杉岡華郵先生がお書きくださった生駒台小学校校歌が掲げられていました。先生は、平成 12 年に文化勲章をお受けになった奈良県下北山村出身のかなの名手です。

この校歌は生駒台小学校の自慢の歌です。何しろ、国語教育のオーソリティーであり、小・中学校の教科書の編著者でもある石森延男先生の作詩、そして、作曲は童謡の作曲家として名高い中田喜直先生の手になるものなのです。今も、全国連合小学校長会研究大会での研究発表で「石森延男作詩、中田喜直作曲の校歌が自慢の生駒台小学校からやって来た竹中です」と自己紹介したときの先生方のちょっとしたどよめきを思い出します。

「松のみどりに さきまじる つつじは あかく 矢田の丘

ながめも清い 教室で しずかに深く 考えよう

光あふれて 新しい ここ生駒台小学校 生駒台小学校」

という軽やかなメロディーのこの歌は、子どもたちの大好きな歌でした。子どもたちだけではありません。校区の人たちも大好きな歌でした。育友会賛助会（育友会OB・OGの会です）のメンバーであるKさんもそんなお1人でした。賛助会のバス旅行の車内でカラオケのマイクが彼女に回ってきたときに、「これが、私のいちばん好きな歌です」と、きれいなソプラノで歌われたのが、生駒台小学校校歌でした。楽譜も見ないで、3番まで見事に歌い切られたあと、大きな拍手が響きました。その学校に勤務していても、3番まですらすらということになると自信のない先生が多いことでしょう。そんな中での独唱でした。私も、この校歌が大好きになりました。

ある日のこと、Y先生が「あれ、校歌が間違ってる」と言いました。それは、どこかの教室で歌っている校歌が職員室まで聞こえてきたときのことでした。

この学校の卒業生である彼女は、「松のみどりにさきまじる…」の

「さきまじる」のところが「ソソソラソー」ではなく「ソソソソソー」だと言うのです。さっそく、楽譜を見ると、確かにそうなっています。子どもたちが校歌を間違えて歌っている、先生たちは校



歌を間違えて教えている。これは、私にとって大変なショックでした。たしかに、「ソソソソソー」と同じ音が5つも続くのはあまり聞かないメロディーです。つい、勝手に「ソソソラソー」と歌ってしまう気持ちは分からないでもありませんが、そこに味わいのある歌を変えてしまうのは許せないことです。作詩者が学校の周辺を歩き、周囲の様子を見定めてお作りになり、作曲者が精根こめて作られたとお聞きした校歌です。意図を正しく受け継いで歌いたいものだと思います。

翌朝の職員打ち合わせで、先生方にはもう一度楽譜をしっかりと見て校歌のメロディーを確認してもらいました。そして、こうした思い込みで指導していないか、音楽に限らずいろいろな教科・領域でその内容を見直し、正しい指導をすることをお願いしました。

うっかり間違えて教えていた、子どもたちの迫力に負けてしまって間違いのまま過ごしていた、こうした例はほかにもあるように思います。その1つが「キラキラ星」です。2拍子の曲の印象を強く与え、

強弱のリズムを感じ取らせようという気持ちから出てくるようなのですが、ドドソソララソーの初めのド、初めのソ、初めのラにアクセントを置きすぎてドドー、ソッソー、ラッラー、ソーのように歌っている、すなわち4分音符2つの小節を、8分音符と8分休符と付点4分音符のように歌っているよと注意したことがあります。

とは言うものの、生駒台小学校は音楽教育のレベルの高い学校でした。秋に行う全校音楽学習発表会では各クラスが競って程度の高い演奏に取り組みます。子どもたちを対象にした演奏会の翌日は保護者だけではなく地域の多くの方々も参加してくださる一大イベントの日です。この日は先生たちも盛装しての登場、子どもたちは自分の出番までは教室で待機、お父さん、お母さんに聞いていただくための演奏に徹します。6年生の子どもたちは招待したお年寄りの手を取って案内します。そして、お茶とお菓子での接待です。こうしたことで新しい交流が生み出されます。もちろん職員による演奏もあります。音楽会の日が近づくと、毎朝の職員打ち合わせを体育館で行い、その後に厳しい練習があるのです。平成元年度は斉藤由貴さんの「夢の中へ」の合奏、私はシンセサイザーを担当、翌2年度は映画「魔女の宅急便」から「ルージュの伝言」の合奏、この年は指揮を受け持ち、私にとっては難しいこの曲のリズムにずいぶん苦労しました。指揮とはいつでも、音楽の教師であった父の遺品の棒を、演奏に合わせて振るという仕事になっていたかもしれません。しかし、職員が心をひとつにして、楽器を演奏し、よいハーモニーを作り出そうと毎朝練習したことは、それをのぞきみる子どもたちに一生懸命に取り組むことの大切さを知らず知らずのうちに教えていたのではないのでしょうか。